

2022年度 子ども学科 カリキュラム・ツリー (履修系統図)

科目群	到達目標	1年次		2年次	
		前期	後期	前期	後期
保育の本質・目的の理解	保育者としての社会的役割を自覚し、保育の目的を理解できる	教育制度論	教育原理 子ども家庭福祉 社会的養護論 幼児教育教師論	社会福祉 子ども理解と教育相談 子ども家庭支援論	
保育の対象の理解に関する科目	子どもの発達に応じた支援ができる	発達心理学	発達心理学演習 子どもの保健	子どもの食と栄養1 子育て支援	子どもの食と栄養2
保育の内容・方法の理解に関する科目	保育の内容、方法を身に付ける	保育内容総論 ↓ 幼児と環境	カリキュラム論 保育内容(環境) 保育内容(表現) 幼児と言葉 乳児保育1	保育内容(健康) 保育内容(人間関係) 保育内容(言葉) 乳児保育2 特別支援保育1 社会的養護内容 子どもの健康と安全	幼児教育方法論 幼児と表現 幼児と健康 特別支援保育2 子ども家庭支援の心理学
保育の表現技術	子どもの表現活動を豊かにするための知識や技術を身に付ける	音楽1 図画工作 子どもの体育	音楽2 日本語表現	音楽3 子どもの音楽 造形表現 リズム・ダンス表現	音楽4
保育・教育実習	保育士や幼稚園教諭に求められる基礎的な実践力を身に付ける	保育実習指導1	保育実習指導2	保育実習指導3 保育所実習1 施設実習1 教育実習指導	保育所実習2 施設実習2 保育・教職実践演習(幼稚園) 教育実習
保育基礎・ゼミナール	少人数による体験学習でコミュニケーション力や問題解決力を身に付ける	保育基礎1	保育基礎2	ゼミナール1	ゼミナール2
こども音楽療育士関連	こども音楽療育士に必要な専門的知識と技能を身に付ける	こども音楽療育概論	こども音楽療育演習	こども音楽療育実習	

※ 下線は幼稚園教諭に関する科目

教養科目群 基礎教養科目 外国語科目 保健体育科目 情報科目 海外研修

DP: 保育を実践するものとしての知識と技術を得られ、将来にわたって自分の保育の質を自ら高めることができる人材の育成を目指す。

CP: 保育に必要な原理、及び理念を学ぶとともに実践技術を得得できるように支援する。特に、「理論と実践技術と保育実践が結びつくこと」によって保育が成立すること」を学べるように次の方針でカリキュラムを編成している。

成果報告会・発表会など

DP1【知識・理解】	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの心身の成長・発達について理解している。 保育の目的、方法、内容について理解している。
DP2【思考・判断】	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを取り巻く環境を的確に把握することができる。 子どもの日々の課題に応じて、適切に対処することができる。
DP3【興味・意欲・態度】	<ul style="list-style-type: none"> 世の中の出来事に、幅広く興味・関心を持つことができる。 子どもと関わる大人としての自覚を持ち、それにふさわしい態度や言動をとることができる。
DP4【技能・表現】	<ul style="list-style-type: none"> 子どもにとって安全・快適な環境を整えることができる。 子どもの表現活動を豊かにするために必要な技能(音楽系、図画工作系、体育系他)を有している。 子どもやその関係者と適切なコミュニケーションを取り、信頼関係を構築することができる。

進路

進学
・4年制大学(編入)
・専門学校

就職
・保育所
・幼稚園
・認定こども園
・各種福祉施設
・一般企業

リカレント
・就職先での悩み相談を含めた、卒業後1年目の卒業生を対象とした研修
・保育者として資質向上のための専門的研修